

教科	国語	科目	現代文B	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	高等学校改訂版「現代文B」（第一学習社）						
副教材等	新国語総合ガイド(京都書房) 常用ダブルクリア 四訂版(尚文出版) 論読 現代文2(浜島書店)						

1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

・評論文では、1年次で培った筆者の主張を捉える力を活用して、多様なジャンルの文章を読んでいます。普段からさまざまな分野の事柄に関心を持ち、思考の幅を広げていきましょう。 ・週に1度漢字テストを行います。積極的に漢字力・語彙力を身に付けましょう。 ・定期考査は学習計画を立てて臨んでください。課題や提出物などの期限は必ず守りましょう。
--

2. 学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育む。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d: 読む能力	e: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	・行動の観察 ・記述の点検(ノート、ワーク、ワークシート等)	・行動の観察(発表などのパフォーマンスの評価など)	・記述の確認及び分析(ノート、ワーク、ワークシート、原稿用紙等)	・行動の観察 ・記述の確認及び分析(ノート、ワーク、ワークシート等) 定期考査	・行動の観察 ・記述の確認(ノート、ワーク、ワークシート等) ・定期考査 ・小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1	「自明性の罫」からの解放	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の基本的な読み方を習得する。 ・「時間」をめぐる具体例と、結論部分の抽象的な記述との関係を理解する。 ・『自明性』の「檻」の外に出て、考えを深める。 	◎	○	○	◎	◎	a: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b: 相手の考えを踏まえ、自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 c: 適切な表現で文章を書いている。 d: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査
1	手の変幻	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の基本的な読み方を習得する。 ・着眼点の鋭さによって、よく知られた具体的な事例が抽象的に深められていくおもしろさを味わう。 ・筆者の考えを参考にして、人間にとって「手」とはどのようなものであるかについて考えを深める。 	◎	○		○	◎	a: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b: 相手の考えを踏まえ、自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 c: 適切な表現で文章を書いている。 d: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査
1	山月記	<ul style="list-style-type: none"> ・小説の基本的な読み方を習得する。 ・すぐれた短編小説の持つ緻密な構成や文体を読み味わう。 ・小説を自己の問題に引きつけながら読む姿勢を養う。 ・主人公の性格や生き方を鏡として、自分の中にもいるかもしれない「虎」について振り返り、思索を深める。 	◎	○	○	◎	◎	a: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b: 相手の考えを踏まえ、自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 c: 適切な表現で文章を書いている。 d: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査
1	「私」中心の日本語	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の基本的な読み方を習得する。 ・筆者が指摘する日本語表現の特性を正しく読み取る。 ・日本人は自己を取り巻く周囲の人々をどのように捉えているのか、自分に引きつけて理解する。 	◎	○	○	◎	◎	a: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b: 相手の考えを踏まえ、自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 c: 適切な表現で文章を書いている。 d: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査
2	こころ	<ul style="list-style-type: none"> ・小説の読み方に習熟する。 ・近代の代表的な小説を読むことによって、近代という時代や、時代と人間との関係について理解を深める。 ・小説に描かれた人間の心理をじっくり読み込む。 ・主人公の心情を自分に引きつけて理解する。 	◎	○	○	◎	◎	a: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b: 相手の考えを踏まえ、自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 c: 適切な表現で文章を書いている。 d: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査

2	働かないアリに意義がある	・評論の読み方に習熟する。 ・アリのコロニーにおける「働かないアリ」の意義について、正しく理解する。 ・安定した組織が持つ特徴について、正しく理解する。	◎	○		◎	◎	a: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b: 相手の考えを踏まえ、自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 d: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査
2	わたしが一番きれいだったとき	・詩の基本的な読み方を習得する。 ・平易な表現にこめられた戦争に対する作者の思いを読み取る。 ・戦争に対する自分なりの考えを深める。	◎			◎	◎	a: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査
3	トランス・サイエンスの時代	・評論の読み方に習熟する。 ・「シナリオ」という考え方が、現実の問題に取り組む際に持つ有用性について理解する。 ・「環境問題」に対する自分の立場を相対的に捉える。	○		○	◎	◎	a: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 c: 適切な表現で文章を書いている。 d: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査
3	バグダッドの靴磨き	・まとまった分量のある小説を読解する。 ・作品の背景と登場人物の心理を理解する。 ・戦争に巻き込まれた子供の心情に迫り、自己の問題として考える。	○	○		◎	◎	a: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b: 相手の考えを踏まえ、自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 d: 文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査

※ 表中の観点について

a: 関心・意欲・態 b: 話す・聞く能力

c: 書く能力

d: 読む能力

e: 知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。